

カナリヤ通信



第18号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で逞しく、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

組織名と役割、取り組み

- 応** 部署：人事企画室
・事業部と全国の支社に『WLB推進者』を配置し生産性向上とWLB向上を目指した取り組みを拠点ごとに実施
- 建** 部署：ダイバーシティ推進室
・「ダイバーシティ推進計画」の策定、ダイバーシティ推進とWLBのための関連研修の企画・実施、社内の意識改革に向けた啓発活動や広報活動など
- 三** 部署：全社
・社長をリーダーとして全社的な長時間労働是正・WLBの充実に取り組む「スマイルプロジェクト」の実施
- 清** 部署：ダイバーシティ推進室
・性別・国籍・障がいの有無に関わらず多様な人材がより活躍できるように施策を立案・展開
・女性従業員向けにフォーラム開催、キャリア意識向上や形成に向けたフォローアップ研修
・初めて女性部下を持つ上司のためのマネジメント研修
- 丹** 部署：人事部
・「ワークプレイスの刷新とともに促進するワークスタイルの改革」として、働き方の多様化促進に取り組む
・在宅勤務や勤務開始時刻を日ごとに変更できるシフト勤務
・フリーアドレス制の導入（社員が個々に机を持たないオフィススタイル）
・全社員にスマホ貸与、個人の働き方に合わせて社員がパソコンの機種を選択
- パ** 部署：D&I推進室
・「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進方針」策定、現場の15チーム、150人のワーキンググループが活動を展開
- 安** 部署：総務部
・男性社員の育児参加に対する情報提供
・「早帰りデー」の実施
・年次有給休暇の計画的付与による夏季休暇の拡大等

えるぼし・くるみんの取得状況

	えるぼし	くるみん
応	段階2取得(2016)	取得(2015)
建	取り組み中	取得(2017)
三	—	取得(2013)
丹	—	取得(2013)
パ	段階2取得(2016)	取得(2009)
安	取り組み中	取り組み中

カッコ内は取得年度

◆アンケート結果

アンケートの結果、会社によって取り組みはさまざまであることがわかりました。残業時間の軽減や有給休暇取得の促進、育児制度の拡充、女性や障がい者も積極的に働ける環境づくりなど、働き方改革やWLBの拡充に向けて着実に進んでいるのが見て取れる結果となりました。



女性活躍推進法施行における取り組み

- 応** ・女性が活躍している状況の見える化＝面接官に女性を採用、会社説明会で女性社員が説明する機会を増やす
・インターンシップの開催回数を増やす・女性キャリア研修
- 建** ・女性技術士数や女性管理技術者数の増加を目指す
- 三** ・ダイバーシティ研修の充実・半日休暇制度の導入
- 清** ・女性管理職養成を目的としたキャリア研修
・マネジメント層に対する意識醸成
- 丹** ・男女問わずに全社で労働と休暇の時間価値を追求
・勤務・休暇制度の見直し
・部署ごとに残業時間や休暇取得状況を見える化
- パ** ・新卒、中途ともに女性の採用割合は概ね30%以上を目指す
・役員等による中堅女性等のマイノリティーを対象にした「メンタリング」
・管理技術者等の男女別割合を周知し登用を啓発
・ベテラン女性が若手女性の相談役となる「姉サガ」
- 安** ・グループ会社を含めた女性の非正社員から正社員への転換促進
・2017年度より女性管理職を登用し、今後も登用を進める

今後の取り組み（例．女性活躍、働き方改革、障がい者雇用、病中病後 他）

- 応** ・在宅勤務や始業時間の繰り上げ制度、ジョブリターン制度など、柔軟な働き方の導入を目指す
- 建** ・「ダイバーシティ推進計画」は、女性活躍編（2015年策定）、シニア活躍編（2016年策定）に加え、外国籍社員活躍について2017年に検討予定
・すでに策定した女性活躍とシニア活躍については、目標のモニタリングを行いながら計画を推進
- 三** ・再雇用制度の改正（短時間・短日数勤務の導入等）・宅勤務制度トライアル実施
・ジョブリターン制度導入・女性社員を対象に管理職育成を目的としたキャリア研修の実施
- 清** ・働き方改革の推進
・介護について外部講師を招いたセミナー形式の講演会や個別相談会などを支店に水平展開、会社からの情報提供を続ける
- 丹** ・全役員・社員対象にダイバーシティ研修
- パ** ・時間休暇やフレックスタイム制度、テレワーク制度等も視野に入れ、多様なライフスタイルに対応した働き方の検討を行っていく予定
- 安** ・2017年度中に有給休暇取得制度化の導入を検討、社員会と協議予定
・在宅勤務、テレワーク導入を検討中

女性活躍推進法が施行されて1年が経過しました。また、政府主導で働き方改革に向けたさまざまな施策が展開されています。そういった流れを受け近年、ダイバーシティ推進室やワークライフバランス室などを設置する企業が多く、女性活躍推進をはじめ外国人や高齢者、障がい者の雇用促進や、働き方についても時短やテレワーク、地域限定社員などといった就業形態面での多様化も積極的に展開しています。そこで今回は、企業で行われているダイバーシティやワークライフバランス（WLB）の取り組みについて紹介します。



応 応用地質 **建** 建設技術研究所 **三** 三機工業 **清** 清水建設
丹 丹青社 **パ** パシフィックコンサルタンツ **安** 安井建築設計事務所
(五十音順)

子育て世代、介護世代への制度的配慮

- 応** ・子が2歳に達する日まで育児休業を取得可能。その子が小学校3年生まで勤務時間短縮などの適用
・通算180日を限度として介護休業、介護のための勤務時間短縮などが可能
・赤ちゃんが誕生した社員の家族に「応用地質は育児を応援します」という社長名のメッセージカードを添えて、男性育児休暇体験記と、育児に関する制度の説明書を郵送
・育休中、SNSで定期的に会社に関する情報を提供
- 建** ・「多様な正社員制度（勤務時間限定正社員、勤務地限定正社員など）」を新設
・育児休業から復職しやすいよう、育児休業期間を子供が1歳に達した後、最初に到来する4月末日まで取得可能（4月1日に入園し1カ月の慣らし保育を見込む）
- 三** ・育児のための短時間勤務制度を小学校3年生の年度末まで延長
・介護休業の取得日数を5回・通算180日まで拡大
- 清** ・育児、介護の休職期間は法定を超える制度を整備
・子の看護休暇（有給休暇）／配偶者出産休暇、育児休業者の職場復帰支援／出産・育児・結婚・配偶者の転勤・介護等による退職社員再雇用制度／不妊治療費の無利子貸付／当社独自のベビーシッター等利用補助制度／フレックス勤務制度／スライド勤務制度など
・仕事と介護の両立支援に向けてセミナーを開催
・「介護がわかるガイドブック」を作成し、全従業員へ配布
- 丹** ・子の看護休暇、介護休暇の時間単位有給化、育児時短勤務を小学校3年生まで延長
・社員の自律性を尊重し、管理職との信頼関係のもと、働く時間や場所を社員自らが選択し、生産性を向上させ、WLBの確保を目指す
- パ** ・育児・介護従事者に限定した特例勤務制度（フレックス勤務）や在宅勤務制度の試行運用中
・育児休業の前後に本人、室長、部長、D&I推進室、総務・労務部で5者面談を実施
・社長から復職者にメッセージカードを贈呈
・育児介護休業に関する情報提供や「仕事と子育て・介護の両立相談窓口」設置
- 安** ・保育所に入所できない場合、子供が3歳に達するまで育児休業可能
・看護休暇は小学校6年生に達するまで取得可能
・介護世代は休業制度で通算6カ月まで取得可能（国が定める規程よりも社員にとって休業、休暇が取得しやすい制度）
・有給、看護、育児休暇は半日単位での取得に加え、時間単位での取得も可能
・短時間、時差出勤での勤務が可能
・休暇中、会社に関する情報を定期的に提供



その他

- 建** ・2016年7月にイクボス企業同盟に加盟し、イクボスの育成に努めている。2017年は管理職に対するイクボス研修を実施予定
- 清** ・「イクボスによる働き方の改革」を進め「イクボスアワード」を実施
・外部講師を招きダイバーシティ・マネジメント講演会
・家族の日イベント開催
・ノー残業デー（毎週水曜日）、プレミアム年休（毎月末金曜日の午後3時以降、1時間または2時間の年休取得が可能）の導入
- 丹** ・本社オフィス内に社員の家族を招くファミリーデーを開催
・CSR活動の取り組みとして、東京大学との産学連携のイベントに社員とその子どもたちを招待
- パ** ・経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞
・イクボス研修を開催し、イクボス同盟に加盟

忙しいときこそ笑顔で声掛け

アールズパーク
メディカルプロデューサー 田中 亜紀さん



変わってきます。終日打ち合わせで外出することもあれば、会社内で健康啓発ツールの構成案作りやプレゼンの準備、ドクターの取材用プロット作りや取材の担当、見積もり作成、その他に新規の営業活動など、さまざまです。いくつかの仕事を同時に進行させていかなければならず、また案件ごとに

健康や医療関係の広告制作会社のプロデューサーという立場で仕事をしています。プロデューサーという職種は案件によって立ち回り方が変わってきます。終日打ち合わせで外出することもあれば、会社内で健康啓発ツールの構成案作りやプレゼンの準備、ドクターの取材用プロット作りや取材の担当、見積もり作成、その他に新規の営業活動など、さまざまです。いくつかの仕事を同時に進行させていかなければならず、また案件ごとに

■お問い合わせ
株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部
TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730

■ご意見・ご感想、プレゼントの応募は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。

「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。



Webで公開中

海から生まれたエイジングケアメソッド

岡 部

女性にとって、美しいお肌は永遠の憧れ。これから暖かくなって、外出する機会も増えてくるので美しく輝くお肌になりたい、と思っている女性も多いでしょう。

そこで今回、紹介するのは岡部の「シフォニアSRセラム」。

島根県の隠岐郡海士町にある海藻研究施設、応用海藻学研究所では100種以上の海藻が採取され育成されています。研究を重ねていく中、研究員が偶然、ある海藻に肌のハリとツヤを高める有効成分が含まれていることを発見したのです。海水栄養塩が豊富な隠岐の海。そこで育った緑藻と褐藻から希少な美容成分を含有する品種があることが分かり、2年におよび研究の重ね「アンペルエクス®」が誕生したのです。

有効成分がすーっとお肌の奥まで浸透、肌のバリア機能を壊さず安全に隅々まで届きます。また、さまざまな肌のダメージをケアするため5つの植物由来成分がトータルにハリツヤ肌へと導きます。さらに無添加なので安心で

シフォニア
SRセラム

す。洗顔後、いつものスキンケアの前にシフォニアSRセラムを塗るだけの簡単ケアでお手軽です。

海からの自然の恵みをお肌にも。定期コース（2カ月分）は7,980円。初回は3,990円（ともに税別）でとてもお得です。詳細は、<http://www.seaphonia.jp/products/30A1>。

◇「シフォニアSRセラム」を抽選で3名にプレゼント

住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へファクスかウェブからご応募下さい。締め切りは4月24日（月）です。



スマホで、携帯電話から応募できます！

8月10日「夏のリ」チャレ

出展企業・団体を募集

日刊建設通信新聞社は、日本経済団体連合会・内閣府・文部科学省が主催する「夏のリ」チャレ2017の参加企業として日本大学理工学部を協力を得て8月10日にイベントを開催します。イベントでは、「仮称 わたしの住む街の仕組みを知ろう」と題し、中学から高校の女子生徒に建設産業界の仕事体験してもらう予定です。



～女子高校生・女子学生の理工系分野への選択～

そこで、同イベントで技術などを紹介し、出展する企業・団体を募集します。締め切りは5月15日。問い合わせ・詳細は、電話03-3259-8711、電話03-3259-8716。

主催：日刊建設通信新聞社
共催：日本大学理工学部
開催日：8月10日（木）
時間：午前10時～午後4時（終了後、懇親会）
場所：日本大学理工学部駿河台校舎1号館
*「リ」チャレ：理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生が、将来の自分を見つかりイメージし、進路選択（チャレンジ）することを応援するため、内閣府が中心となつて行っている取り組み。

日刊建設通信新聞社主催
日本大学理工学部共催